

PART-3 就職先企業アンケート調査集計結果

調査目的： 本学の教育により習得した能力が社会においてどの程度役立っているのか、社会・企業等が求めている人材育成ができてきているのか、などについて評価・意見を聴取し、今後の本学における大学・大学院教育のあり方を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

調査時期： 平成 28 年 8 月 8 日～8 月 31 日

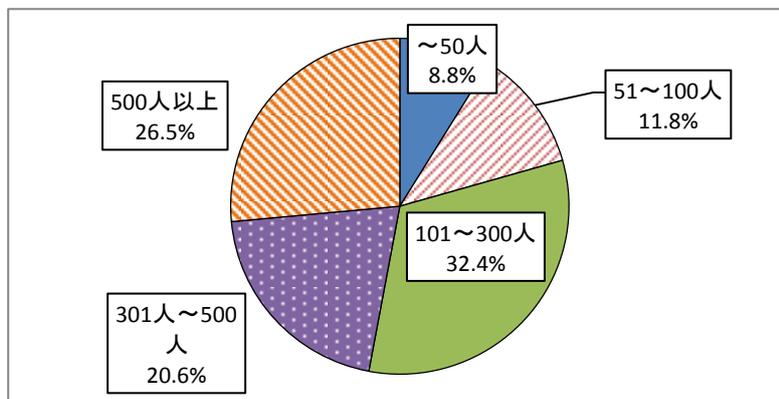
対象企業： 過去 3 年間（平成 24 年度～平成 26 年度）で本学学生を 2 名以上採用している病院・福祉施設・企業等 127 社

調査方法： 対象企業等に別紙案内書を郵送し、Web サイトでの回答を依頼した。

回答数： 34 社（回答率 26.8%）

■ I. 回答企業等の概要

1. 従業員規模



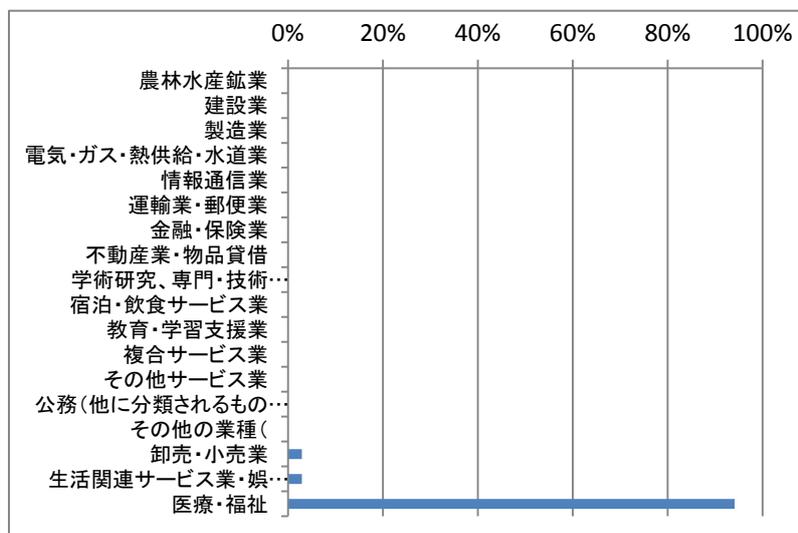
(社)

～50人	3
51～100人	4
101～300人	11
301人～500人	7
500人以上	9
計	34

2. 業種

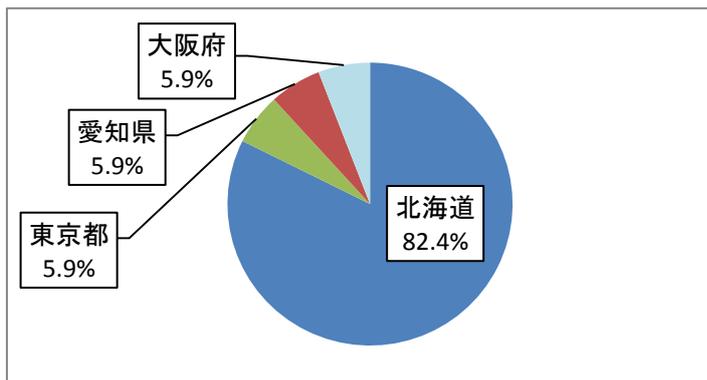
○本学は医療系大学であるため、アンケート調査の対象は病院・福祉施設等の医療福祉関連の企業等が多く、回答の業種も「医療・福祉」が 32 社 94.1% を占めた。

(社)



卸売・小売業	1
生活関連サービス業・娯楽業	1
医療・福祉	32

3. 本社の所在地



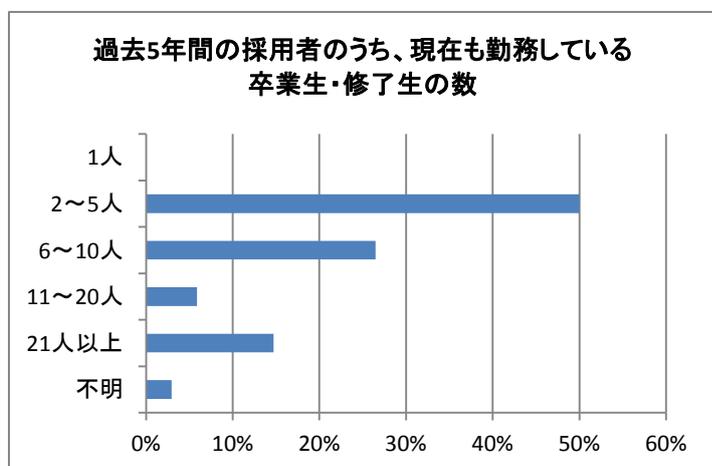
(社)

北海道	28
東京都	2
愛知県	2
大阪府	2
計	34

4. 過去5年間の採用者のうち、現在も勤務している卒業生・修了生数

○2～5人が17社50%と最多であるが、11人以上も7社20.6%を占めていた。

(人)



1人	0
2～5人	17
6～10人	9
11～20人	2
21人以上	5
不明	1
計	34

5. 勤務している卒業生・修了生の学部・研究科別人数

○勤務している回答企業の卒業生の内訳は、薬学部17社、看護福祉学部臨床福祉学科12社、看護福祉学部看護学科9社、心理科学部言語聴覚療法学科8社、心理科学部臨床心理学科7社、歯学部6社であった。1企業等に在職している人数は、10人以上が13社と最も多かった。

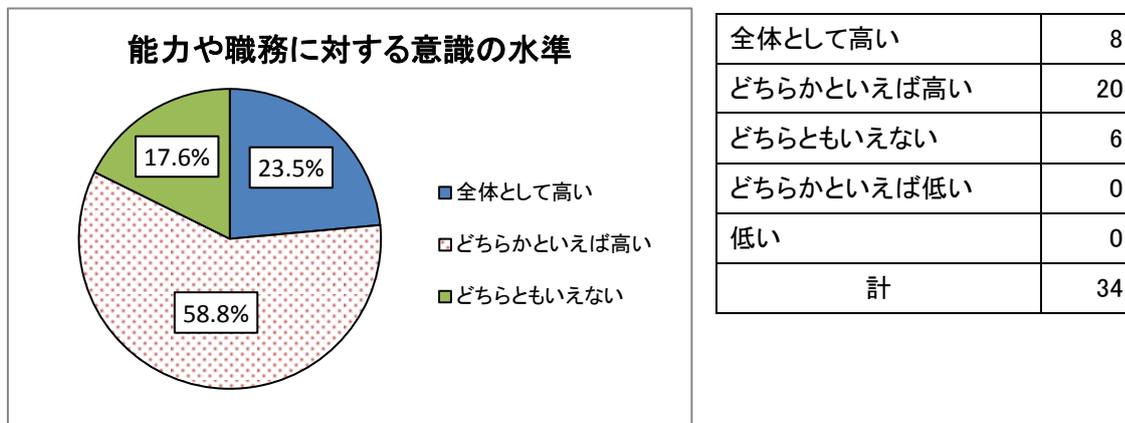
	企業数	人数					
		1人	2人	3人	4人	5～9人	10人～
薬学部	17	0	1	3	2	5	6
歯学部	6	2	1	1	0	1	1
看護福祉学部看護学科	9	3	2	1	1	0	2
看護福祉学部臨床福祉学科	12	5	0	2	3	1	1
心理科学部臨床心理学科	7	2	2	0	1	1	1
心理科学部言語聴覚療法学科	8	1	2	2	1	0	2
薬学研究科	3	1	0	1	1	0	0
歯学研究科	0	0	0	0	0	0	0
看護福祉学研究科看護学専攻	3	1	0	2	0	0	0
看護福祉学研究科臨床福祉学専攻	1	1	0	0	0	0	0
心理科学研究科臨床心理学専攻	2	1	0	1	0	0	0
心理科学研究科言語聴覚学専攻	0	0	0	0	0	0	0

■ II. 卒業生・修了生の能力や職務水準の評価

6. 本学卒業生・修了生の能力や職務に対する意識の水準

選択肢：5. 全体として高い 4. どちらかと言えば高い 3. どちらともいえない
2. どちらかといえば低い 1. 低い

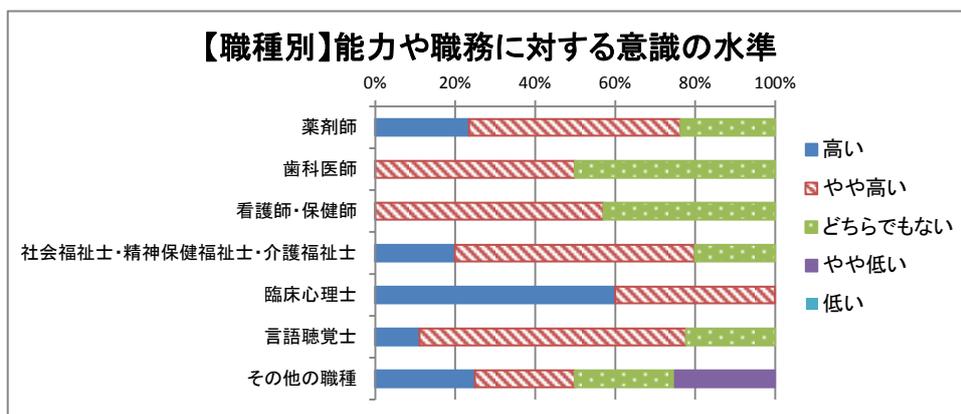
○全体として高い8社23.5%、どちらかと言えば高い20社58.8%、合計82.3%と高い評価を得た。



7. 職種別に本学卒業生・修了生の能力や職務に対する意識の水準

選択肢：5. 全体として高い 4. どちらかと言えば高い 3. どちらともいえない
2. どちらかといえば低い 1. 低い

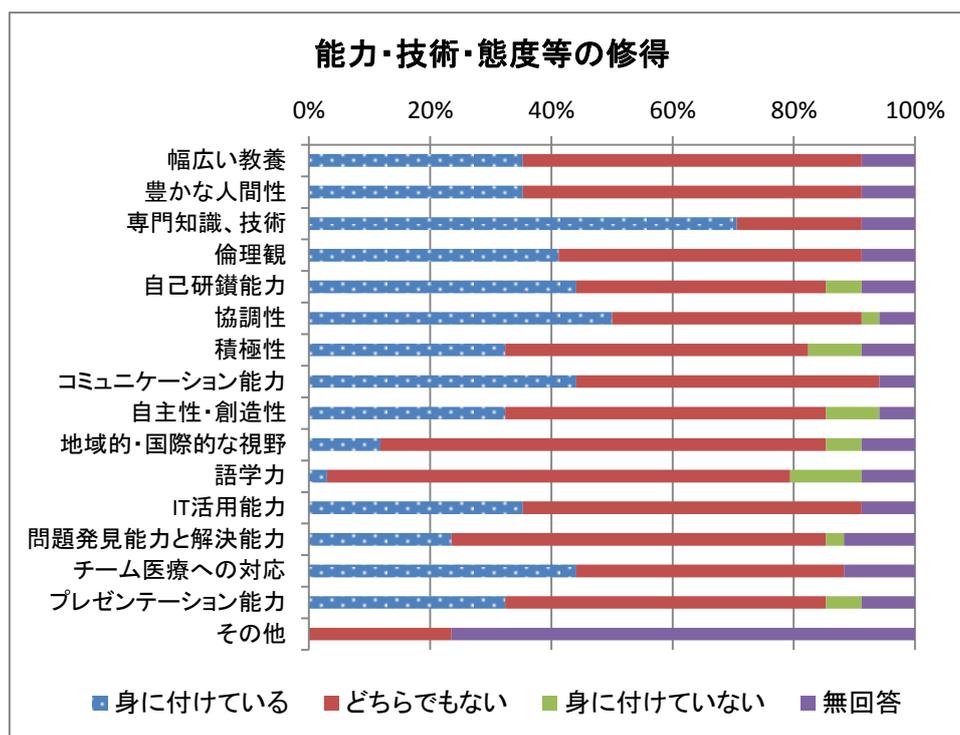
○「高い、やや高い」という評価の合計の比率は、薬剤師13社76.4%、歯科医師2社50%、看護師・保健師4社57.1%、社会福祉士・介護福祉士8社80%、臨床心理士5社100%、言語聴覚士7社77.8%、その他職種2社50%という評価であった。その他職種1社にやや低いと評価があったが、他の職種に「低い」という評価が1社もないことは、本学の評価と教育成果の表れと考えられる。



8. 能力・技術・態度等

選択肢：3. 身に付けている 2. どちらでもない 1. 身に付けていない

○「どちらでもない」という回答比率が高かったが、「身に付けている」と評価された個別項目は、「専門的知識、技術」24社70.6%、「協調性」17社50.0%、「自己研鑽能力」15社44.1%、「コミュニケーション能力」15社44.1%、「チーム医療への対応」15社44.1%「倫理観」14社41.1%が比較的に高い割合であった。また、3社以上が身についていないと評価した項目は、「積極性」「自主性・創造性」「地域的・国際的な視野」「語学力」であった。



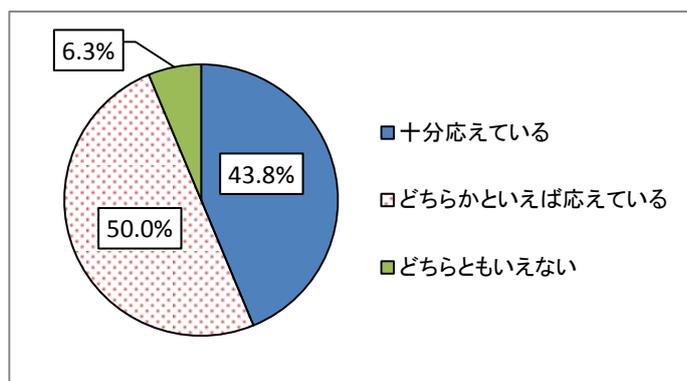
(社)

	身に付けている	どちらでもない	身に付けていない	無回答
幅広い教養	12	19	0	3
豊かな人間性	12	19	0	3
専門知識、技術	24	7	0	3
倫理観	14	17	0	3
自己研鑽能力	15	14	2	3
協調性	17	14	1	2
積極性	11	17	3	3
コミュニケーション能力	15	17	0	2
自主性・創造性	11	18	3	2
地域的・国際的な視野	4	25	2	3
語学力	1	26	4	3
IT活用能力	12	19	0	3
問題発見能力と解決能力	8	21	1	4
チーム医療への対応	15	15	0	4
プレゼンテーション能力	11	18	2	3
その他	0	8	0	26

9. 企業の人材ニーズや期待に答えているか

選択肢：5. 応えている 4. どちらかと言えば応えている 3. どちらともいえない
2. やや不足している 1. 不足している

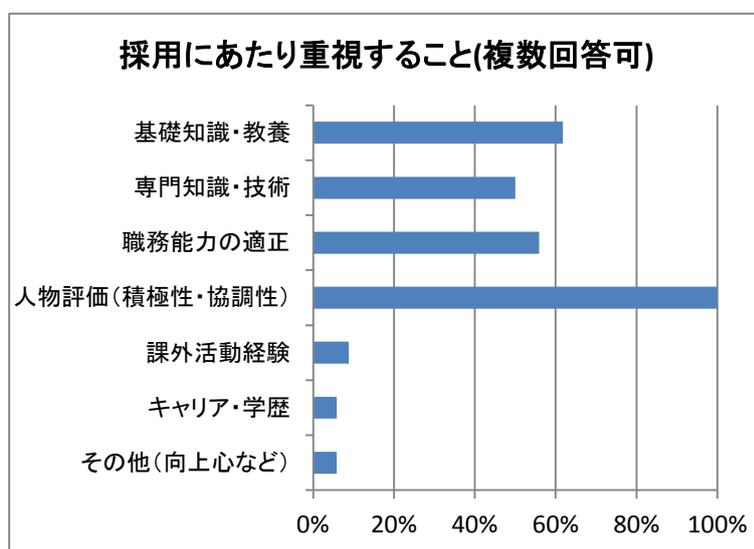
○「応えている」14社 41.2%、「どちらかといえば応えている」16社 47.1%、合計 88.3%と高い評価を得ている。なお、今回評価の低かった項目について、個人の意識や企業の求める職務能力の違いもその要因であると考えられるが、今後も各企業等の期待に応じていくためには、それらに対する指導も必要である。



■Ⅲ. 企業の採用基準について

11. 学生を採用するにあたって重視することについて

○学生を採用するにあたって重視することは、「人物評価」100%、「基礎知識・教養」61.8%、「職務能力の適正」55.9%であった。



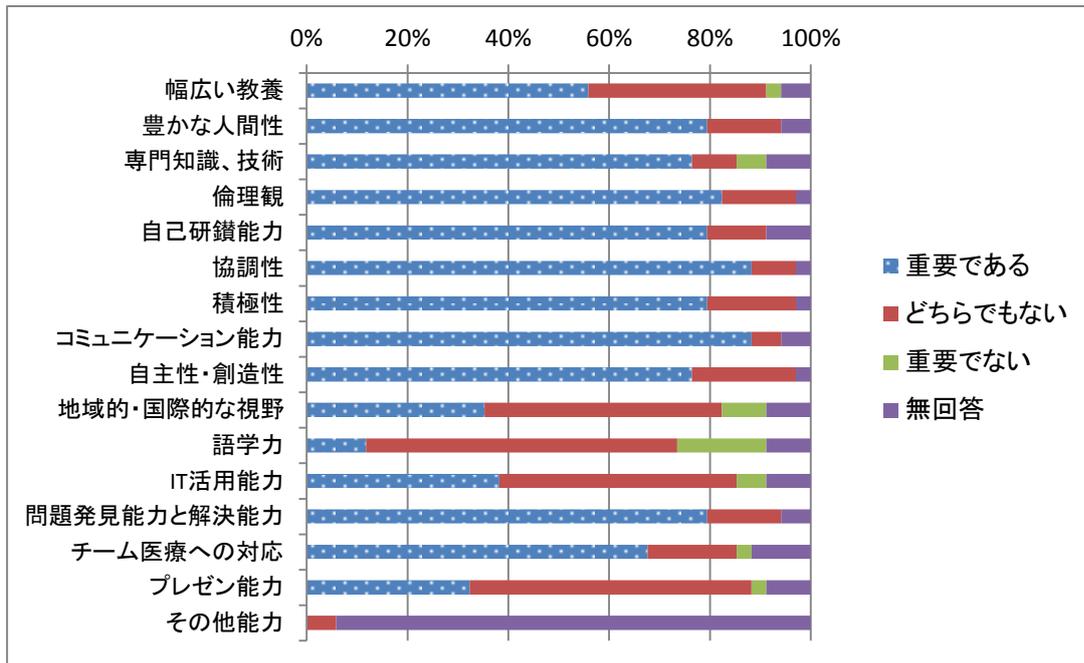
基礎知識・教養	21
専門知識・技術	17
職務能力の適正	19
人物評価(積極性・協調性)	34
課外活動経験	3
キャリア・学歴	2
その他(向上心など)	2

12. 業務を遂行していく中で重要な能力・態度等について

選択肢：3. 重要である 2. どちらともいえない 1. 重要でない

○業務を遂行していく中で重要な能力・態度として、上位から協調性 88.2%、コミュニケーション能力 88.2%、倫理観 83.4%、豊かな人間性 79.4%、専門知識・技術 76.5%、自己研鑽能力 79.4%、積極性 79.4%、自主性・創造性 76.5%、問題発見能力と解決能力 79.4%

といずれも高く、IT活用能力 38.2%、プレゼンテーション能力 32.4%、地域的・国際的な視野 35.3%、語学力 11.8%と低かった。



	重要である	どちらでもない	重要でない	無回答
幅広い教養	19	12	1	2
豊かな人間性	27	5	0	2
専門知識、技術	26	3	2	3
倫理観	28	5	0	1
自己研鑽能力	27	4	0	3
協調性	30	3	0	1
積極性	27	6	0	1
コミュニケーション能力	30	2	0	2
自主性・創造性	26	7	0	1
地域的・国際的な視野	12	16	3	3
語学力	4	21	6	3
IT活用能力	13	16	2	3
問題発見能力と解決能力	27	5	0	2
チーム医療への対応	23	6	1	4
プレゼンテーション能力	11	19	1	3
その他	0	2	0	32

■自由記述 (件数)

10 学生時代に身に付けて おいて欲しい能力・技術等	13 卒業生・修了生のイメー ジや教育に関する意見等
8	12

北海道医療大学卒業生・修了生に関するアンケート調査票

アンケートの回答は、自由記載以外該当番号に○印または番号、数字をご記入願います。

I. 貴社の概要についてお伺いたします。

1. 貴社の従業員規模（正規従業員）をお知らせください。

1. ~50人 2. 51~100人 3. 101~300人 4. 301人~500人 5. 500人以上

2. 貴社の業種をお知らせください。

1. 農林水産業 2. 建設業 3. 製造業 4. 電気・ガス・熱供給・水道業
5. 情報通信業 6. 運輸業・郵便業 7. 卸売・小売業 8. 金融・保険業
9. 不動産業・物品貸借 10. 学術研究、専門・技術サービス業 11. 宿泊・飲食サービス業
12. 生活関連サービス業・娯楽業 13. 教育・学習支援業 14. 医療・福祉
15. 複合サービス業 16. その他サービス業 17. 公務（他に分類されるものを除く）
18. その他の業種（ ）

3. 貴社の本社（本部）の所在地について、都道府県名でご記入ください。

4. 貴社で過去5年間（平成22年度～平成26年度）に採用した北海道医療大学卒業生のうち、現在も勤務している卒業生数について、おわかりになる範囲で、およその人数でも結構ですので、お知らせください。

1. 1人 2. 2~5人 3. 6~10人 4. 11~20人 5. 21人以上 6. 不明

5. 貴社に勤務している北海道医療大学卒業生・修了生の、卒業学部・大学院についておわかりになる範囲で、およその人数でも結構ですので、ご記入ください。

1. 薬学部（ ）人 2. 歯学部（ ）人 3. 看護福祉学部看護学科（ ）人
4. 看護福祉学部臨床福祉学科（ ）人 5. 心理科学部臨床心理学科（ ）人
6. 心理科学部言語聴覚療法学科（ ）人
7. 薬学研究科（ ）人 8. 歯学研究科（ ）人 9. 看護福祉学研究科看護学専攻（ ）人
10. 看護福祉学研究科臨床福祉学専攻（ ）人 11. 心理科学研究科臨床心理学専攻（ ）人
12. 心理科学研究科言語聴覚学専攻（ ）人

II. 北海道医療大学卒業生・修了生についてお伺いたします。

6. 北海道医療大学の卒業生・修了生の能力や職務に対する意識の水準の印象について、どのように評価されますか。

5. 全体として高い 4. どちらかといえば高い 3. どちらともいえない
2. どちらかといえば低い 1. 低い

7. 北海道医療大学の卒業生・修了生の能力や職務に対する意識の水準について、職種別にどのように評価されますか。該当する選択肢の番号をご記入ください。

- 【5. 全体として高い 4. どちらかといえば高い 3. どちらともいえない
2. どちらかといえば低い 1. 低い】

- | | | |
|----------------------------|---------------|----------------|
| 1. 薬剤師 () | 2. 歯科医師 () | 3. 看護師・保健師 () |
| 4. 社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士 () | 5. 臨床心理士 () | |
| 6. 言語聴覚士 () | 7. その他の職種 () | |

8. 北海道医療大学卒業生・修了生が能力・技術・態度等を身に付けているかの印象について、該当する選択肢の番号をご記入ください。

- 【3. 身に付けている 2. どちらともいえない 1. 身に付けていない】

- | | | |
|---------------------|--------------------|----------------|
| 1. 幅広い教養 () | 2. 豊かな人間性 () | 3. 専門知識、技術 () |
| 4. 倫理観 () | 5. 自己研鑽能力 () | 6. 協調性 () |
| 7. 積極性 () | 8. コミュニケーション能力 () | 9. 自主性・創造性 () |
| 10. 地域的・国際的な視野 () | 11. 語学力 () | 12. IT活用能力 () |
| 13. 問題発見能力と解決能力 () | 14. チーム医療への対応 () | |
| 15. プレゼンテーション能力 () | | |
| 16. その他 (具体的に : | |) |

9. 北海道医療大学の卒業生・修了生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に役立っていると思えますか。

- | | | |
|-------------|-------------------|--------------|
| 5. 十分役立っている | 4. どちらかといえば役立っている | 3. どちらともいえない |
| 2. やや不足している | 1. 不足している | |

10. 北海道医療大学の学生が学生時代に身につけておいて欲しい能力・技術・態度や経験しておいて欲しいこと等について、何かご意見があれば自由にお書きください。

--

Ⅲ. 貴社の採用基準についてお伺いします。

11. 貴社が学生を採用するにあたって重視されることはなんですか。(複数可)

- | | | | |
|---------------------------|------------|------------|-------------------|
| 1. 基礎知識・教養 | 2. 専門知識・技術 | 3. 職務能力の適正 | 4. 人物評価 (積極性・協調性) |
| 5. 課外活動経験 (サークル・ボランティアなど) | 6. キャリア・学歴 | | |
| 7. その他 (具体的に : | | |) |

